



編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609 熊本県中央区水前寺6丁目18番1号
Tel: 096(333)2699
Mail: kyoukuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

就任の御挨拶 教育長 越猪浩樹



令和7年4月25日付で県教育長に就任した越猪浩樹です。昭和59年4月に熊本県教師となり、宇土中学校・宇土高等学校長や熊本高等学校長をはじめ通算24年間、学校現場で過ごしました。県教育委員会事務局では、高校教育課長や教育指導局長を務め、本県教育行政に関わって参りました。

本県の教育現場が直面する課題は、少子化による児童生徒の減少、県立高校の更なる魅力化、いじめ問題や不登校児童生徒への支援、教職員不足、学校の働き方改革への対応など、複雑かつ多岐にわたります。

また、グローバル化の進展やTSMC進出に伴う教育環境整備、教育DXの推進など、新たな課題への対応も必要となっています。

現在、県教育委員会では、昨年12月に策定したくまもと新時代教育大綱及び第4期熊本県教育振興基本計画に基づき、「変化の激しい時代に対応した質の高い教育の推進」や「共生社会に実現に向けた教育の充実」などに向け取り組んでいます。

引き続き計画に沿った取組みを進めるとともに、関係機関との連携強化や、教師が誇りと使命感を持って働くことができるような環境づくりを進めることで、熊本の子どもたちが自らの可能性を拓げ、未来を切り拓くことができるよう、県教育委員会一丸となって全力で取り組んで参ります。どうぞよろしくお願ひします。

くまもと新時代教育大綱及び第4期熊本県教育振興基本計画【令和6年12月策定】

- くまもと新時代教育大綱…本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱
- 第4期熊本県教育振興基本計画…本県の教育の振興のための施策に関する基本的な計画

<基本理念> 自らの可能性を拓げ、未来を切り拓く 熊本の人づくり

<基本目標> ①変化の激しい時代に対応した質の高い教育の推進

②共生社会の実現に向けた教育の充実

③世界に羽ばたく志ある人材を育てる魅力的な学校づくり視点での教育施策

④活力あふれる熊本の実現に向けた文化・スポーツの振興

⑤災害からの復旧・復興及び記憶の伝承、『こどもまんなか』の推進

<期間>くまもと新時代教育大綱:定めなし、第4期熊本県教育振興計画:令和6~9年度(4年間)

GWイベントを開催しました！

歴史公園鞠智城・温故創生館では、5月3日（土）にGWイベント「みんなおいでよ！鞠智城」を開催しました。当日は鞠智城説明ボランティア会による復元建物ガイド、鞠智城イメージキャラクターころう君とその仲間たちの楽しいショーや、子どもたちに大人気の弓矢体験を行いました。また、同時開催のクイズラリーやスケッチ大会にも多数ご参加いただきました。



ころう君と仲間たちのショー



みんな大好き弓矢体験



城内のいろんな場所でスケッチ

GW期間中、天氣にも恵まれ、1万人を超える皆様にご来城いただき、広い城内で思い思いに楽しい時間を過ごしていただきました。これから先も様々なイベントを予定しております。ぜひ歴史公園鞠智城までお越しください。

詳しくは鞠智城HPをご覧ください。



ボランティア会による復元建物ガイド

古代のボードゲーム「かりうち」体験教室を開催しました！

歴史公園鞠智城・温故創生館では、GW期間中の土日祝日に古代のボードゲーム「かりうち」体験教室を開催しました。



家族で楽しめるゲームです



こうう君との対戦



かりうち盤

「かりうち」の楽しみは、

- ①ショートカット⇒ある地点にとまつたら近道ができる。
 - ②おんぶ⇒自分のコマと同じマスにとまつたら重ねて動かせる。
 - ③どんでん返し⇒相手と同じマスにとまつたら相手をスタートに戻せる。（ここが一番の盛り上がりどころ）
- の3つがあります。そのため、自分の持ちゴマ（4つ）がすべてあがるまでにたくさんの逆転劇があります。作戦を考えゲームを進めていくところにこのゲームのおもしろさがあります。体験された方の笑い声が響きわたる時間となりました。

古代のボードゲーム「かりうち」とは・・・

奈良時代の文献で大流行した記事が残るゲームの一種です。平城京から出土した遺物や文献を研究し、韓国の遊び「ウンノリ」を参考にして、奈良文化財研究所が復元したボードゲームです。



かりうちについてはコチラ↑

歴史公園鞠智城・温故創生館では、「かりうち」体験教室の開催希望を随時受け付けております。個人や団体等でご希望される方は、温故創生館（0968-48-3178）松本までご連絡ください。

この記事に関する問い合わせ先：歴史公園鞠智城・温故創生館（0968-48-3178）

動画で楽しく学ぶ

二次元コードから簡単に視聴できます!ぜひご覧ください!

「親の学び」オンデマンド講座

社会教育課では、くまもと家庭教育支援条例に基づき、子どもたちの基本的な生活習慣について楽しく学ぶことができる映像資料（「親の学び」 オンデマンド講座）を作成・配信しています。

映像資料（「親の学び」 オンデマンド講座）はYouTube限定配信となっており、各コンテンツの二次元コードからいつでも、どこからでもアクセスできます。



「親の学び」
オンデマンド
講座とは?



科学的知見に基づく子育てのポイントや豆知識について、短時間の動画視聴で、いつでもどこでも楽しく学ぶことができる講座です。

※対面講座のプログラムの一つとしても活用できます。

知って納得! 読書活動の効果

「読書活動により養われる力」等について、クイズを通して楽しく学ぶことができる「『親の学び』講座」をオンデマンド形式でお届けします。

今回の動画も、これまでの「親の学び」 オンデマンド講座映像資料をシリーズ化したものであり、「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究(国立青少年教育振興機構)等をもとに分かりやすく解説しています。

読書活動編

<https://youtu.be/vXsj8KFU10g> <https://youtu.be/VXsj8>

その他
lineup

睡眠編

<https://youtu.be/hHW7ZTheatE> <https://youtu.be/3fzqJZL>

デジタル機器編

<https://youtu.be/RzQPCeXg9> <https://youtu.be/6XKgjV51>

スマホ編

<https://youtu.be/4a2kRG3jvS1> <https://youtu.be/E1FHZaSmA>

朝ごはん編

<https://youtu.be/3s/HazsfSmA> <https://youtu.be/oSKAUHOGok>

体験活動編

<https://youtu.be/4esKscd> <https://youtu.be/0o>

熊本県教育委員会

問い合わせ先 市町村教育局社会教育課 ☎ 096-333-2697



「児童生徒を学びの主体」へ

令和7年度、市町村立小学校及び中学校、義務教育学校の取組

本県では、「児童生徒を学びの主体」とする取組を推進しています。令和6年12月に実施した熊本県学力・学習状況調査では、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた」と感じている児童生徒の割合が、前年度より増加しました。

引き続き、誰一人取り残さない学びの保障と、「児童生徒を学びの主体」とする授業力の向上を図るとともに、教員が学びの主体となる研修等の充実に取り組みます。

今回、その取組の一部を紹介します。

プロジェクト校による研究実践

令和6年度より2年間、県内9地域13校を、「熊本の学び」プロジェクト校に指定し、授業力の向上や特色ある実践に取り組んでいます。また、今年度より2年間、県内1地域2校を、「新たな学び」プロジェクト校に指定し、小中一貫教育や遠隔教育等に取り組んでいきます。

※プロジェクト校の今年度の取組等については、今後の本誌でも紹介していきます。過去の取組はこちら→



プロジェクト校の公開授業の様子



スーパーティーチャー等の活用

指導力の優れた教員である「スーパーティーチャー等」を県内の各管内に配置（県内で51名）しています。児童生徒への指導・支援の他、授業力の向上のためには教員に対して助言等を行っています。



スーパーティーチャーによる研修(道徳)の様子

スーパーティーチャー等の紹介はこちら→



これらの取組の他にも「研修や提供資料の充実」などを行っていきます。



県教育委員会は、「児童生徒を学びの主体とする」授業づくりに向けて、学校の取組や先生方の授業づくり等を伴走型で支援していきます。

この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2688）

「熊本県学力・学習状況調査」児童生徒質問調査より

○「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」



※「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合を示したものです。

県学力・学習状況調査の実施

児童生徒が自分の「学び」を自覚し、その後の主体的な学習につなげるために、県学力・学習状況調査を実施します。調査後には、児童生徒一人一人に結果を示した個人票や復習用教材を提供する予定です。

個人票を一緒に確認

「2」の問題では、学習した漢字が正しく使えていたね。

過去の県学力・学習状況調査の結果等はこちら→



復習用教材を活用

分数の問題を一緒に解いてみよう。

ケーキを切り分ける時を例に考えてみようか。

課題の克服には、県教委作成の「くまナビ評価問題」も活用できます。→

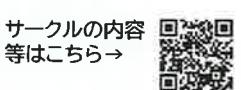


「熊本の学び」わくわくサークルの実施

「熊本の学び」わくわくサークルとは、教員が、授業等の悩みや課題について、参加者同士で意見交流を行うオンライン研修です。研修を通して、悩みの解決につながるヒントやアイディアを共有し、先生方の横のつながりをつくり、授業力の向上を図ります。



サークルの様子
(理科)



県教育委員会は、「児童生徒を学びの主体とする」授業づくりに向けて、学校の取組や先生方の授業づくり等を伴走型で支援していきます。

見たい！知りたい！やってみたい！ 熊本県立装飾古墳館

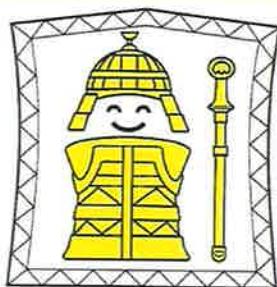
熊本県立装飾古墳館は、全国一の数を誇る装飾古墳をテーマとする博物館で、平成4年(1992年)4月15日にオープンしました。

岩原双子塚古墳(墳長107m)を主墳とする国史跡岩原古墳群に隣接しており、その外観は前方後円墳をイメージしています。館内には、精巧に復元された装飾古墳のレプリカ(実寸大)が展示されており、装飾文様を真近に見ることができます。

また「古代体験」ができる県民参加型の博物館として、「古代勾玉づくり」や「古代火おこし体験」など、さまざまな体験ができます。



チブサン古墳(レプリカ)



装飾古墳館



CHECK

令和7年度
定期体験教室



熊本県立装飾古墳館HP

- 古代絵画教室(7/19)
- 琥珀勾玉づくり(9/13)
- ナイトミュージアム～古墳館へ行かnight！～(11/8)
- 古代食体験～縄文ドングリクッキーづくり～(1/17)
- 埴輪づくり(2/21)
- 琥珀勾玉づくり(3/7)



古代絵画教室



縄文ドングリクッキー

※定期体験教室は、いずれも定員があり、事前予約が必要です。
詳しくは、ホームページをご確認下さい。

夏休みに熊本の出版文化にふれてみませんか？

第37回郷土関係出版物展 -ふるさと熊本ゆかりの著作物-

熊本県立図書館では、郷土熊本に関する出版物や熊本県内に在住又は県出身者の著作物を収集・保存しています。

2年に一度、収集した出版物の展示会を開催しています。

1 展示期間 令和7年（2025年）8月7日（木）～9月15日（月・祝）

※毎週火曜日と8月29日（金）は休館です。

2 観覧時間 平日：午前9時30分から午後7時まで

土日・祝日：午前9時30分から午後5時まで

3 展示会場 熊本県立図書館 3階 小研修室

〒862-8612 熊本市中央区出水2丁目5番1号

4 展示資料 令和5年（2023年）4月から令和7年（2025年）3月の間の刊行物



詳しくは熊本県立図書館ホームページをご確認ください。

この記事に関する問い合わせ先：熊本県立図書館（096-384-5000）



夏休みも図書館へ行こう！

熊本県立図書館 子ども図書室



熊本県立図書館子ども図書室では、夏休み期間中に子どもたちが楽しめるイベントを行います。子ども図書室閉室後のちょっと暗い時間にひっそり開催する「こわいおはなし会」、日頃は入ることができないバックヤードを含めた図書館の隅々をガイド付きで回れる「図書館たんけん隊」、高校生平和大使による「平和を語りつぐおはなし会」など盛りだくさん。

「自由研究資料展示コーナー」にはたくさんの自由研究の本が揃っています。貸出可能です。図書館に行けばヒントが見つかるはず！

※イベントはいずれも定員制で事前予約が必要です。

今年は
「図書館たんけん隊」中に
付き添いの保護者向けに
「おとなの図書館ツアー」も
開催予定！
(先着順・事前予約制)

詳細は近日中にHPにて
お知らせいたします！



こわいおはなし会



図書館たんけん隊



平和を語りつぐおはなし会

この記事に関する問い合わせ先：熊本県立図書館（096-384-5000）

国際バカロレア（IB） ディプロマ・プログラム（DP）とは？？

1. 国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）とは

国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムです。現在、世界160の国・地域、約5,800校で実施されています（2024年12月31日時点）。

もともとは、世界各国の外交官や国際機関職員などの家庭の子供たちがスイス国内のインターナショナルスクールを卒業した後、母国の大学に進学するための入学資格を付与する目的で開発されました。

このプログラムは、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（IB資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。

今回は、16歳から19歳を対象としたディプロマ・プログラム（DP）について紹介します。

（参考：DP：原則から実践へ（国際バカロレア機構 URL: <https://www.ibo.org/globalassets/new-structure/research/pdfs/dp-from-principles-into-practice-ip.pdf>）、文部科学省IB教育推進コンソーシアムホームページ URL: <https://ibconsortium.mext.go.jp/about-ib/dp/>）

2. ディプロマ・プログラム（DP）とは

所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（IB資格）が取得可能。原則として、英語、フランス語又はスペイン語で実施。一部科目は日本語で実施可能です。一般的なカリキュラムに比べてプレゼンテーションやグループワーク、ディスカッションなどを行う機会が多く、生徒が主体となって進める学びのスタイルが特徴です。



（1）カリキュラムについて

DPのカリキュラムは、6つの教科群（言語の習得、言語と文学、個人と社会、理科、数学、芸術）と「コア」と呼ばれる3つの要素から構成されています。生徒は、6つの教科群から各教科ずつ選択し、6科目を2年間で学習します。

（2）コア要素について

探究型学習と全人的教育を強調するIB教育の大きな特徴がこの3つのコア要素です。以下に示すコアの3要素はDPの経験において極めて重要な部分を成します。

①知の理論（Theory of Knowledge【TOK】）

「知識」の本質とはなにかを学ぶ教科です。生徒が新しい知識を習得することではなく、生徒がすでに知っていることを振り返り、それをより大きな視座の中でとらえられるようになることがTOKの主なねらいです。

②課題論文（Extended Essay【EE】）

個人的な研究への取り組みを通じて、高いレベルのリサーチスキル、記述力、創造性を育成し、知的発見を促すことをねらいとしています。研究成果を4,000語（日本語の場合は8,000字）以内の論文にまとめます。

③創造性・活動・奉仕（Creativity/Activity/Service【CAS】）

創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬での自発的な交流活動といった体験的な学習を取り組みます。

（引用：国際バカロレア機構ホームページ Resources for schools in Japan

URL: <https://www.ibo.org/about-the-ib/the-ib-by-region/ib-asia-pacific/information-for-schools-in-japan/>）

（3）評価について

国際バカロレア資格の取得には、DPカリキュラムを全て履修し、外部評価（国際バカロレア試験等）及び内部評価を通じて、45点満点中、原則として24点以上を取得する必要があります。配点は、6科目につき各7点（計42点）。さらに、必修要件（「コア」）について、TOKとEEの評価結果の組み合わせに応じて最大3点が与えられます（CASは評価対象外）。（引用：国際バカロレア機構 Diploma programme assessment - International Baccalaureate® URL: <https://ibo.org/programmes/diploma-programme/assessment-and-exams/understanding-ib-assessment/>）

3. DP修了生の進路と特長について

IB資格を修得すると、日本の大学の入学資格が認められます。また、IB資格は、国際的に通用する大学入学資格として、国ごとに具体的な取扱いは異なるものの、世界の多くの国々の大学において、大学入学資格として幅広く受け入れられています。つまり、高校卒業から海外大学にも直接入学できるという選択肢の拡大に繋がります。一般入試とは別に、国内でもIBを活用した入試を行っている大学も78校（国公立大学30校）あり、IB資格を活用して大学にチャレンジすることも可能です。（参考：文部科学省IB教育推進コンソーシアムホームページ）。

IB修了生を対象にしたあるアンケート結果では、身に付いたスキルとして割合の高い順に、「思考スキル」、「コミュニケーションスキル」、「自己管理スキル」が報告されています。「常に疑問を持って考察する姿勢」は多くの場面で役立ちますし、培ったコミュニケーションスキルは人脈作りにも生かされるでしょう。また、スケジュール管理ができることで、余裕をもって課題や業務を進めることができます。このように、DP修了生は卒業後も大きな活躍が期待できる人材と成り得る可能性が高いと言えます。

ものすごい勢いで世界のグローバル化が進む今、国際バカロレアDPも進路選択の一つとして考えてみてはいかがでしょうか？（引用：Univ-it! IB（国際バカロレア）生のための進学情報 URL: <https://univ-it.net/blog/2025/02/25/atl-skill-growth/>）

※DPのプログラムモデルやコア要件の詳細等については、右のQRコード（国際バカロレア機構ホームページ）からご覧になれます。



出典：Resources for schools in Japan
(国際バカロレア機構)

この記事に関する問い合わせ先：高校教育課高校魅力化推進室（096-333-2684）

令和7年度第1回熊本県国際バカロレア 教育プログラム啓発セミナーを開催しました。

令和7年6月23日（月），県庁防災センターで「令和7年度第1回熊本県国際バカロレア教育プログラム啓発セミナー」を開催しました。当日は，鹿児島修学館中学校・高等学校より新名主敏史先生をお招きし，「MYPの特長とIB導入による変化」という演題で御講演いただいた後に，現役IB生を交えたトークセッションも行いました。約70名の参加があり，参加者はIB教育に対する理解を深めました。

令和7年度第2回熊本県国際バカロレア 教育プログラム啓発セミナーを開催します。

令和6年4月から県立八代中学校で国際バカロレアMYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）の試行が始まりました。そこで，多くの方々に国際バカロレア（IB）のことを知っていただくため，標記セミナーを開催します。皆様，ふるってご参加ください。

日時	令和7年9月6日（土）	第2回申込 QRコード 申込締切：9月3日（水）												
会場	熊本城ホール会議室（予定）（熊本市中央区桜町3-40）													
対象	小学生，保護者の方，一般の方，教育関係者													
費用	無料（事前申込が必要）													
内容	<table><tr><td>1 受付</td><td>12:45～13:30</td></tr><tr><td>2 開会挨拶</td><td>13:30～13:35</td></tr><tr><td>3 基調講演</td><td>13:35～14:15</td></tr><tr><td>4 トークセッション</td><td>14:25～15:20</td></tr><tr><td>5 諸連絡</td><td>15:30～15:45</td></tr><tr><td>6 授業体験</td><td>15:45～16:30</td></tr></table>	1 受付	12:45～13:30	2 開会挨拶	13:30～13:35	3 基調講演	13:35～14:15	4 トークセッション	14:25～15:20	5 諸連絡	15:30～15:45	6 授業体験	15:45～16:30	 https://forms.cloud.microsoft/r/H9C24ngHQQ
1 受付	12:45～13:30													
2 開会挨拶	13:30～13:35													
3 基調講演	13:35～14:15													
4 トークセッション	14:25～15:20													
5 諸連絡	15:30～15:45													
6 授業体験	15:45～16:30													
	<p>演題：『IB教育とともに歩む—教育者として、そして母として—』 講師：ドカティー 博美 氏（文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局長）</p> <p>テーマ：『IB教育で育つスキル、そしてそのスキルをもって世の中とどう関わるか』 ドカティー 博美 氏 中尾 雪路 先生（奈良県立国際中学校・高等学校校長） 現役IB生</p> <p>5 諸連絡 15:30～15:45 6 授業体験 15:45～16:30</p> <p>▶ 中学校向けプログラムの導入レベル（小学5,6年生対象）です。 ▶ 実施科目は「言語と文学（国語）」と「IB Math AA（数学）」です。 ▶ 事前選択制（上記QRコードから登録可能）です。 ▶ 各教科定員15名（先着順）とします。</p>													

【国際バカロレア（IB）】

国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムであり，グローバル人材の育成を目指している。

高校レベルのディプロマ・プログラム（DP）は国際的に通用する大学入学資格で，世界の大学入学選抜で広く活用。

～熊本県では，グローバル人材の育成を目標に，令和6年度入学生から県立八代中学校で国際バカロレア（IB）中等教育プログラム（MYP）の試行開始，その後，八代高等学校へのIB導入を目指しています～

令和8年度（2026年度） 熊本県育英資金予約募集

～貸与型の奨学金のご案内～

現在中学3年生
対象の募集

育英資金の予約募集とはなんですか？

育英資金とは、無利子の貸与型奨学金です。（将来返還が必要です。）予約募集とは、高校入学前に申請の手続きをし、入学後すぐに奨学金が借りられるようにするものです。

いつからどのくらい借りられますか？

高校進学後の5月末から、毎月定額（8,000円～35,000円）を最大5年間借りられます。（金額・貸与期間は進学先により異なります。）*右上表図参照

他の奨学金との併用はできますか？

貸与型の奨学金との併用はできません。
※併願はできますが、1つのみ選択することになります。

貸与金額（月額）：進学後に各区分の金額のうち1つを選択

区分	金額
国公立	自宅通学 18,000円、13,000円、8,000円
	自宅外通学 23,000円、18,000円、13,000円
私立	自宅通学 30,000円、20,000円、10,000円
	自宅外通学 35,000円、25,000円、15,000円

貸与期間：進学先の正規の修業年限の終期までです。

高等学校：3～5年間 高等専門学校：5年間

専修学校：1～4年間 ※いずれも課程によって異なります。

申請方法

在籍する中学校の奨学金担当者へ連絡してください。

書類の提出締切

9月初旬頃（学校によって異なります。）

※その他詳細については、学校から配付される募集のしおりをご覧ください。

※募集のしおりや申請書類は熊本県教育委員会ホームページ（QR参照）にも掲載しています。



この記事に関する問い合わせ先：高校教育課（096-333-2675）

令和7年度(2025年度)熊本県奨学のための給付金

授業料以外の教育費
を支援します！

- 給付金は支給されるものであり、返還の必要はありません。
- 奨学金や就学支援金(授業料)と一緒に利用することができます。

★どんな人が給付を受けられるの？

要件（すべてを満たす世帯が対象）

保護者

- ①生活保護（生業扶助）受給世帯又は
②非課税世帯（道府県民税所得割及び市町村民税所得割）

生徒

- 熊本県内に在住
- 高等学校等就学支援金の対象校に在学している
- 児童福祉法の措置費等の支給を受けていない

①や②に該当しない
が、家計急変により
減収した世帯でも給
付を受けられること
があります。



詳細はこちら
熊本県教育委員会HP



★給付額（年額）はいくら？

	全日制・定時制	通信制	専攻科
生活保護受給世帯	32,300円	32,300円	50,500円
非課税世帯	143,700円	50,500円	

※専攻科は、世帯の課税所得割合計額により、10,100円が給付される場合もあります。

★申請時期や提出先は？

申請時期	6～7月頃 ※必ず学校により 異なります。
提出先	在籍する各学校へ

前倒し給付を受けた1年生も
再度、申請が必要です。

この記事に関する問い合わせ先：高校教育課（096-333-2675）

※私立高校については、私学振興課（096-333-2064）へお問い合わせください。

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 令和7年度(2025年度)熊本県人権子ども集会



今年度の熊本県人権子ども集会は、集会形式及びオンデマンド配信により開催します。

集会形式日時・会場：令和7年(2025年)10月4日(土)午後1時～午後3時

熊本県立劇場(熊本市中央区大江2-7-1)

オンデマンド配信期間：令和7年(2025年)11月中旬～令和8年(2026年)2月

内 容：児童生徒による体験・活動報告、集会メッセージ発表等

※学校単位での参加及び視聴となります。

令和6年度(2024年度)の実績

オンデマンド動画視聴数(オンデマンド配信のみで実施)

視聴校数 534校(熊本市を除く公立学校の100%が視聴)

視聴人数 約76,000人

たくさんのみなさんに視聴いただき、ありがとうございました

この記事に関する問い合わせ先:人権同和教育課(096-333-2702)

テーマ

「自分も友達も大切に、
みんなで作ろう楽しい学校」

～自分の花を咲かせよう、
それぞれの花を大事にしよう～

くまもとけんりつ いなだしまんがっこ
熊本県立かもと稻田支援学校

昨年度の体験・活動報告(一部)

どなたでも利用可

豊かな心を育む体験活動

熊本県立青少年の家

宿泊利用の他、
日帰り利用也可

家族連れや友人同士での利用もOK!

部活動や勉強合宿、子ども会やPTAの行事、家族での宿泊やキャンプ、企業や各種学校の研修・会議など様々な形で利用ができる施設です。

体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、考える力など成長の糧としての役割が期待されています。

県立青少年の家(天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家)では、立地条件を活かした『豊かな心を育む体験活動』を実施しています。



県立青少年の家で実施している体験活動

- 野外活動
マリン活動、川あそび、キャンプ、登山など
- 創作活動
焼き杉、ホットホビー、カラーキャンドル、切り絵など
- その他
ナイトゲーム、キャンドルの集い、レクリエーション、交歓活動など

<http://www.k-seishonen.com>

熊本県立青少年の家

検索

この記事に関する問い合わせ先:社会教育課(096-333-2697)



QRコードから
もアクセスで
きます。



公立中学校における部活動の地域移行

熊本県教育委員会では、令和5年度から中学校部活動の地域移行を進めています（熊本市を除く）。

「地域移行」とは、生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を将来にわたり確保すること等を目的として、「学校部活動」を「地域クラブ活動」（学校以外の新たな実施主体による活動）に移行することです。

なぜ地域移行するの？

いま、中学校部活動には、

- 生徒数の減少によって、学校単独での活動や大会参加が難しいこと。
 - 休部や廃部によって、生徒の興味・関心がある部活動の保障が難しいこと。
 - 専門外種目の部活動を指導する顧問が多く、教員の負担感を高めていること。
- など、いくつかの課題があります。その課題を解決するために、全国的に取組が進められています。

本県では、令和7年度末までに休日の地域移行の完了を目指しています！



どんな環境づくりを目指しているの？

授業の準備をする時間が増えて、生徒の学力向上にもつなげられる！など、先生たちにとってもメリットがあります

部活動にはなかったスポーツ・文化芸術活動ができるようになる！

他校や他校種の生徒と交流ができるようになる！

専門的な指導のおかげで、技術の向上が実感できるようになる！

自分の趣味や地域ならではのスポーツや文化芸術活動ができる！

地域の方との関わりが増えてコミュニケーションも増える！



地域移行には
課題もあります

課題の一つは「指導者の確保」です！



熊本県教育委員会では、「熊本県地域クラブサポーターバンク」を設置しています。これは、指導者やスタッフとして参加していただく方に登録していただき、地域クラブを運営する市町村等に情報を提供する仕組みです。

令和7年5月末現在で、220名の方に登録していただいています。

保護者や地域のみなさまにもご協力いただきながら、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するために、地域移行の取組を進めていきます。右のQRコードから登録フォームにアクセスできます



この記事に関する問い合わせ先

運動部活動：体育保健課（096-333-2722）

文化部活動：義務教育課（096-333-2689）



地域移行に関する情報は、熊本県教育委員会のホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。

県立学校でも自転車通学生がヘルメットを着用しています!



ヘルメット
かぶるモン

©2010 熊本県くまモン

令和7年4月から県下全ての県立学校で自転車通学生のヘルメット着用許可条件化がスタートしました。今後も自ら命を守ることができるように、生徒の安全を最優先に考える取組を行っていきます。

★ヘルメットを着用してよかつた理由を教えてください★

生徒
からの
声♪

- ・頭を守られていて、安心感がある
 - ・交通安全についてよく考えるようになった
 - ・危険な場面があった
 - ・ドライバーや歩行者から認知されやすくなった
 - ・かっこいい
- など
- 【ヘルメット着用を先行実施した県立高等学校4校のアンケート調査結果(R6.10)から一部抜粋】



熊本商業高等学校 朝の登校様子(R7.4)
【令和6年度熊本市自転車安全利用モデル認定校】

この記事に関する問い合わせ先：学校安全・安心推進課（096-333-2355）

くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰

県教育委員会では、昭和45年から児童生徒の善い行い(社会奉仕活動や人命救助、消火活動等)を表彰しています。

子どもたちを「認め、ほめ、励まし、伸ばす」の姿勢で見つめ、多くの子どもたちのよさやがんばりにスポットを当てていきます。

【「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」に込められた思い】

- ・誰かのために、ひたむきにがんばっている子どもたちを励ましたい
- ・熊本を笑顔にする善い行いを、広く県民にお知らせしたい

こんな活動をしている児童生徒はいませんか？

- ・登下校中のごみ拾いを継続して行っている。
- ・挨拶運動、交流活動等で、地域を元気にしている。
- ・自分たちで育てた花苗を地域に植え、環境美化に貢献している。
- ・困っている高齢者へ支援を行った。
- ・火災に気付き、消火活動を行った。
- ・倒れている人を発見し、救急車を呼んだ。



笑顔うまれる子どもたちの善い行いをお待ちしています！



令和6年度の特別賞、入賞者の詳細は熊本県教育委員会のHPをご覧になることができます。



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2689）